

**製品名: IL-33 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12554**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	31kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL33
別名	IL33; C9orf26; IL1F11; NFHEV; Interleukin-33; IL-33; Interleukin-1 family member 11; IL-1F11; Nuclear factor from high endothelial venules; NF-HEV
遺伝子 ID	90865.0
SwissProt ID	O95760
免疫原	抗血清はヒト IL33 の内部領域由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 121-170

**背景**

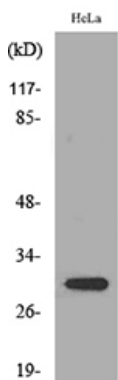
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IL1RL1/ST2 受容体に結合するサイトカインです。このタンパク質は、Th2 細胞の成

熟、ならびにマスト細胞、好塩基球、好酸球、およびナチュラルキラー細胞の活性化に関与しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2015 年 9 月], 注意: 当初 (PubMed:12819012) は、組織化された二次リンパ組織に見られる特殊な後毛細血管高内皮細静脈 (HEV) 表現型を制御する重要な因子の 1 つであり、核局在すると考えられていました。機能: IL1RL1/ST2 に結合してシグナル伝達するサイトカインで、その刺激により MYD88、IRAK1、IRAK4、および TRAF6 がリクルートされ、続いて MAPK3/ERK1 および/または MAPK1/ERK2、MAPK14、および MAPK8 がリン酸化されます。T ヘルパー 2 型関連サイトカインを誘導します。PTM: CASP1 によってタンパク質分解され、成熟型に変換されます。類似性: IL-1 ファミリーに属します。非常に多様性に富む。組織特異性: 扁桃腺、パイエル板、腸間膜リンパ節に見られる高内皮細静脈で高発現する。胎盤ではほとんど検出されない。

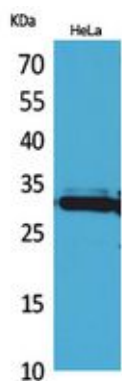
## 研究分野

細胞質 DNA 感知経路;

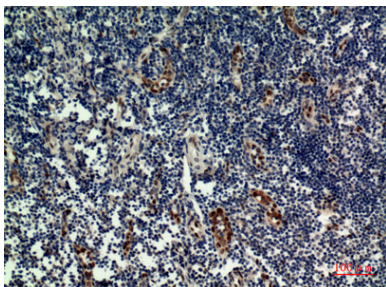
## 画像データ



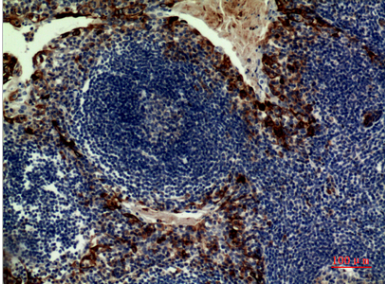
IL33 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



IL-33 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト扁桃の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された